

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選	授業担当者 Instructor	実務 経験
日本語Ⅳ(J1)	～218	1・2年生・後期	2単位	選択	古川 幸子	
履修の前提条件						
留学生を対象とする日本語講座です。日本語運用能力向上に意欲のある学生の受講を求めます。						
授業概要 (Course Outline)						
国を越えて共有でき、さまざまな側面を持つトピックについて、関連資料を分析したり、ディスカッションしたりしながら、内容を深めていきます。グループワークやスピーチなどを通して、自分の考えを日本語で豊かに発信できるように、授業を展開していきます。						
授業を通して修得できる力 (Competency Goals)						
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture					○
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature					
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening					○
	数量的スキル Mathematics					
	情報リテラシー Information Literacy					○
	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking					○
	問題解決力 Problem Solving					○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神 University Founding Philosophy					○
	自己管理能力 Self-management					
	チームワーク Teamwork					○
	リーダーシップ Leadership					○
	倫理観 Ethical Sense					○
	市民としての社会的責任 Social Responsibility					○
生涯学習力 Lifelong Learning					○	
到達目標 (Objectives)						
日本の大学で学ぶ上で必要な日本語運用能力、特に口頭発表の技術を高め、円滑なコミュニケーションができるようになることを目標とします。また、日本の文化や習慣、価値観などに対して、みんなで調べたり話し合ったりして、日本社会についてよく理解できるようになることがこの講座の目標です。						
事前学習の内容	次の学習内容の言葉調べなど、各講指示します。					
事後学習の内容	講義内容の復習、小テストのための復習など。					
能動的学習【アクティブラーニング】の内容 (Active Learning)						
各トピックについて読み、ディスカッションしたりして、意見をまとめ、発表します。						
教員との連絡方法・オフィスアワー (Office Hour)						
連絡、問い合わせの方法は、授業の1回目で教えます。週に1回しか大学に来ませんが、いつでも連絡できるようにします。						
その他 (Others)・外部試験との関連・学習の確認(ポートフォリオの作成と提出)について						
外部試験: 日本語能力試験(JLPT)を受験してください。必須ではありませんが、授業で能力試験対策練習を行うので、受験を強く勧めます。今年は、第1回7月2日(申込4月末まで)第2回12月3日(申込9月末まで)です。 学習の確認: ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。						

授業計画 (Course Schedule)			
テーマ Theme			
第1回	オリエンテーション: 授業方針説明、受講上の注意、日本語力チェックテスト		
第2回	十代のうちにうちに考えておくこと。		
第3回	草は生きているのか		
第4回	仕事選び		
第5回	障害と私		
第6回	フィンランドの学校で		
第7回	マニュアル社会		
第8回	遺伝子検査		
第9回	コミュニケーションの日本語		
第10回	コミュニケーション(トピック)		
第11回	丸裸の山で		
第12回	何かを選択すればゴールに近づく		
第13回	とても大切な水の話		
第14回	住宅(トピック)		
第15回	見通す力		
第16回	定期試験		
教科書 (Textbooks)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
話す書くにつながる日本語読解	小野恵久子 遠藤千鶴 大久保伸枝 山中みどり	アルク	
参考文献 (Reference Books)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
必要に応じて指示します。			
成績評価方法 (Grading Criteria / Method of Evaluation)			
平常点(授業中のパフォーマンス、態度、HW提出状況など)45%、定期試験40%、小テスト15%で、評価します。			